

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	国際交流推進事業				財務会計上の事業名	国際交流推進事業、青少年国際交流事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	5	1	1	担当部署名	人権・文化国際課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第5節国際交流と地域交流の推進				
	項目	項目1市民レベルでの国際交流の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	姉妹・友好都市への青少年派遣・受入や市民訪問団への派遣・受入を実施するとともに、姉妹・友好都市の認知度向上のための広報を行う。
めざす姿(目標)	姉妹・友好都市との交流を通して市民の国際意識を高めるとともに、市民や市民団体が主体の国際交流活動を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	池田市都市提携委員会、池田市民で中学生～高校生の学生
事業の手段・方法(どのように)	池田市都市提携委員会へ補助金を交付し、国際交流事業を行う。また、夏休み期間中に姉妹都市(ローンセストン市)、春休み期間中に友好都市(蘇州市)へ青少年を派遣する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	2,309	3,404	2,095	
主な内訳	補助金	1,750	3,000	1,600
	行事報償金	559	404	495
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他( )			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	2,309	3,404	2,095
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
ローンセストン市への派遣生数	3人	3人	3人
蘇州市への派遣生数	4人	0人	4人
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	令和元年度の蘇州市への派遣については、新型コロナウイルスの影響により、事業自体が中止となったため。その他については募集枠を超える応募があるため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	例年多数の応募者が集まり、派遣生たちは全員貴重な経験をして帰ってきたとの報告を受けるため。		

5 事業の現況と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
令和元年度の蘇州市への青少年派遣、令和2年度のローンセストン市への青少年派遣については、新型コロナウイルスの影響により中止。一方で蘇州市との交流については、Zoomを使ったオンラインでの交流を予定している。姉妹都市・友好都市の往来の再開については未定。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
コロナ禍でも実施可能なオンラインでの交流を行うなど、可能な交流事業を模索していく。	その他 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 新型コロナウイルスの状況をふまえて検討

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	国際交流センター運営事業				財務会計上の事業名	国際交流センター運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	5	3	1	担当部署名	人権・文化国際課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第5節国際交流と地域交流の推進				
	項目	項目3多文化共生の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	国際交流センターにおいて、外国人市民への支援事業、語学教室や啓発講座など、多文化共生推進事業を実施する。
めざす姿(目標)	多文化共生のまちづくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	外国人市民及び日本人市民
事業の手段・方法(どのように)	外国人市民が、行政サービスを日本人市民と同様に受けられるようサポートし、また多文化共生のまちづくりを推進すべく、事業を実施する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	1,988	2,622	3,157	☆活動・成果
主な内訳				
協力報償金	988	1,117	1,866	
筆耕翻訳料	174	445	500	
機器借上料	423	463	389	
財源				
国・府支出金				☆成果の達成状況
地方債				
その他(補助金・交付金)	41	52	582	
うち受益者負担 B				
一般財源 C	1,947	2,570	2,575	
一般財源比率 C÷A	97.9%	98.0%	81.6%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
日本語教室参加者数	2,200人/年	2,324人/年	2,300人/年
☆成果の達成状況	C.判断できない		
・上記「達成状況」選択の理由	指標について、利用者数(来場者数)から事業参加者数に変更したため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	各種事業を通して国際交流センターの周知を図り、外国人市民やボランティアの参画を図ることができている。また、適宜現在の池田市の在住外国人の動向に合わせて事業の見直しを行っているため。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>本市の外国人市民の在住状況は市内企業の動向、留学生に因るところが大きい。日本語が話せないニューカマーは、現在ベトナム、インドネシア、マレーシアの短期滞在者が多いが、利用者にあわせて必要な事業を展開しているところ。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>通訳者の確保が困難な言語については近隣市の協力を得るなどして対応する。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 改正入管法の施行により本市においても外国人住民の増加が見込まれる中で、必要な事業を実施し、多文化共生のまちづくりを推進していく。</p>